

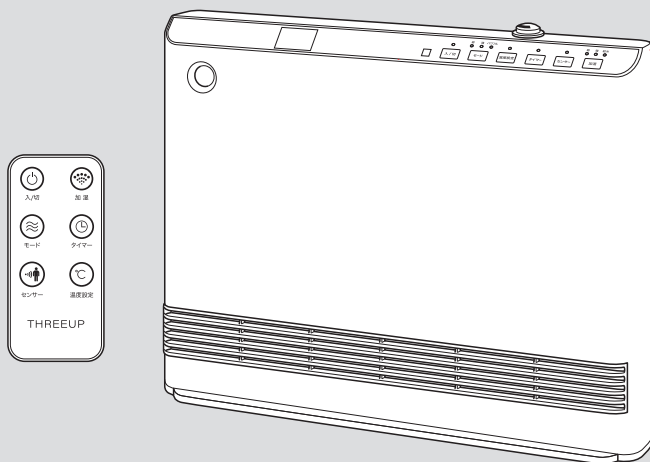
# THREEUP

## 人感/室温センサー付 大風量\*加湿パネルセラミックヒーター マキシムワイドヒート

### CH-T1961

\*「大風量」は当社従来品との比較です。

## 取扱説明書



本製品は日本国内専用です。

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。  
お読みになった後は、いつでも見られるところに大切に保管してご利用ください。

### 目次

#### はじめに

- 安全上のご注意 …………… 1~2
- 各部のなまえ …………… 3~4
- パッケージ内容・別売品・仕様 …………… 4

#### ご使用の前に

- 設置について …………… 5
- リモコンについて …………… 6

#### ご使用方法

- 運転する(連続運転) …………… 7
- 停止する …………… 8
- 運転モードを切り替える …………… 8
- 温度設定モード …………… 9
- オフタイマーを使う …………… 10
- 人感センサーモード  
(自動運転) …………… 11~12
- 加湿モード …………… 13~15

#### 点検・修理

- お手入れと保管方法 …… 16~18
- コンセントの点検 …………… 19
- 故障かな?と思ったら …… 20~21
- 保証・サービス …………… 22

# はじめに

## 安全上のご注意

- 火災、感電、ケガなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。ご使用上の注意事項は「**⚠ 警告**」と「**⚠ 注意**」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

<b>⚠ 警告</b>	誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。
<b>⚠ 注意</b>	誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容のご注意。

なお、「**⚠ 注意**」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。

いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

「**⚠ 警告**」・「**⚠ 注意**」以外に製品の据付け、操作、メンテナンスなどに関する重要な注意事項は「**⚠**」にて表示しています。

「安全上のご注意」と同様必ず守ってください。

## **⚠ 警告**

### 分解や修理、改造をしないでください。

- 火災、感電、ケガの原因になります。修理技術者以外の方は、分解や修理をしないでください。修理が必要な場合は、スリーアップカスタマーサポートまでお問い合わせください。

### お子様だけで使ったり、触れさせたりしないでください。

- 感電やケガ、事故の原因になります。

### 使用しない場合は、安全な場所に保管してください。

- 落下、衝撃、水濡れをする場所は避け、お子様の手の届かない場所に保管してください。
- 高温になる場所、湿気やホコリの多い場所に放置、保管しないでください。動作異常のおそれがあり発煙、発火の原因になります。

### 屋外や直射日光の当たる場所で使用しないでください。

- 絶縁劣化による感電、漏電、火災、故障の原因になります。

### 電源は必ず家庭用100V電源（容量15A-1500W）を単独で使用してください。

- 異なる電圧での使用は発熱により故障、火災の原因になります。
- タコ足配線はブレーカーが落ちる原因や、火災の原因になります。

### 電源プラグにホコリが付いている場合は、きれいに拭き取ってください。

- ホコリがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

### 延長コードやテーブルタップ、ソケットなどは使用しないでください。

- コンセントや電源プラグ、電源コードが異常発熱し、発火するおそれがあります。

### 長時間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 絶縁劣化による火災、感電の原因になります。

### 火気に近づけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。

- 本体の変形によるショート、発火の原因になります。

### 浴室などの湿気が多い場所、水のかかる場所では使用しないでください。

本体を水につけたり、水をかけたりして丸洗いはしないでください。

- 感電、火災、故障の原因になります。

### 引火性のもの（殺虫剤、ヘアスプレー、ガソリン、ベンジン、シンナーなど）の近くで使用しないでください。また、本体に向かって吹きかけないでください。

- 爆発や火災の原因になります。

### 電源プラグや電源コードを取り扱うときは、次のことを守ってください。

- 電源コードや電源プラグを乱暴に扱ったり、重いものをのせたり、機器に挟み込んだり、損傷したものは使用しないでください。
- 濡れた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。
- 電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。
- コンセントから抜くときは、コードを引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。
- 使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源コードは束ねたまま使用しないでください。
- 電源コードや電源プラグが破損した場合は、スリーアップカスタマーサポートまでご相談ください。

### すき間にピンや針金などの異物を入れないでください。

- 感電やケガの原因になります。

### 周囲に十分な空間を確保して設置してください。

- 設置距離について、P.5「設置について」を必ずご確認ください。

### 運転中と運転直後は吹出口や超音波振動板に触れないでください。

- 高温になっているため、やけどのおそれがあります。

### 靴や衣類などの乾燥には使わないでください。

- 火災の原因になります。

## 警告

吹出口や吸気口をふさいだり、本体を覆ったりしないでください。

- ・衣類やカーテンなどで吹出口や吸気口がふさがれたり、本体が覆われたりすると、過熱による本体の変形、発火の原因になります。

カーテンやふとんなど、燃えやすいものの近くで使用しないでください。

- ・火災の原因になります。

ミストを故意に吸入しないでください。

- ・健康を害する原因になります。

本体の電源スイッチが自動的に入るようなプログラムタイマーや、その他の装置を使用しないでください。

- ・ヒーターが可燃物で覆われた場合や、間違っって設置された場合に火災の原因になります。

異常時、故障時は直ちに使用を中止して、電源プラグをコンセントから抜いてください。

《異常/故障例》

- ・電源を入れても運転しないときがある。
- ・電源コードや電源プラグ、本体などが触ることが出来ないほど熱い。
- ・焦げ臭いにおいがする。

※初めてご使用の際は、使い始めに少し塗料または油分のおいがることや、まれに少量の煙が出る場合がありますが、故障や異常ではありません。ご使用にともない消えてなくなります。

その他異常と思われるときは、使用せずにスリーアップカスタマーサポートまでお問い合わせください。

## 注意

使用前に、本体や各部品に損傷がないか点検してください。また、誤って落としたり、ぶつけたりしたときは、破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。

お手入れは定期的に行ってください。

- ・「お手入れと保管方法」に従ってお手入れをしてください。
- ・長時間使用しない場合や、お手入れ、保管の際は、水タンクと本体(水そう部)の水を捨ててください。
- ・吸気口や吸気フィルター、吹出口が汚れていると、異臭や故障の原因になります。
- ・人感センサーが汚れていると、作動しなかったり誤作動したりする場合があります。
- ・本体(水そう部)や水タンクの汚れがひどくなると、雑菌やカビが繁殖し異臭や故障の原因になります。

お手入れには台所用中性洗剤以外は使用しないでください。

- ・塩素系/アルカリ系の洗剤や、シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しないでください。

高所や足元が不安定な場所では使用しないでください。

- ・落下、転倒などにより、ケガや事故の原因になります。
- ・安定した水平な場所に置かれていないと転倒時自動オフスイッチが働き、運転が停止します。

テレビやパソコン、オーディオ機器などの近くに設置しないでください。

- ・テレビやパソコン、オーディオ機器の故障や雑音が入る原因になります。

水タンクの水は毎日新しい水と入れ替えてください。

- ・水を入れ替えないで使い続けると、雑菌やカビが繁殖し異臭や健康を害する原因になります。

湿度の高い場所(70%以上)では使用しないでください。

- ・家具や壁を湿らせ、雑菌やカビが繁殖し異臭や故障の原因になります。

常温の水道水以外は使用しないでください。

- ・ミネラルウォーター、アルカリイオン水、井戸水、浄水器を通した水などは雑菌やカビが繁殖しやすくなります。また40℃以上のお湯、化学薬品、芳香剤、アロマオイルなどを入れた水は製品の変形、故障の原因になります。

吸気フィルターを取り外した状態で運転しないでください。また、運転中に吸気フィルターを取り外さないでください。

- ・本体内部にホコリがたまり、本体内部が過熱するなど、事故や故障の原因になります。

お手入れや持ち運び、保管の際は、本体が冷めてから行ってください。

- ・火災ややけどの原因になります。
- ・取っ手を持って持ち運びしてください。

製品の上にものを置かないでください。

- ・転倒によるケガや故障の原因になります。

薬品などの周囲では使用しないでください。

- ・本体のプラスチック部品が劣化し、破損するおそれがあります。

壁や家具の近くで使わないでください。

- ・熱で壁や家具が変形や変色、火災の原因になります。
- ・壁やカーテンにミストが直接当たると、シミや汚れの原因になります。

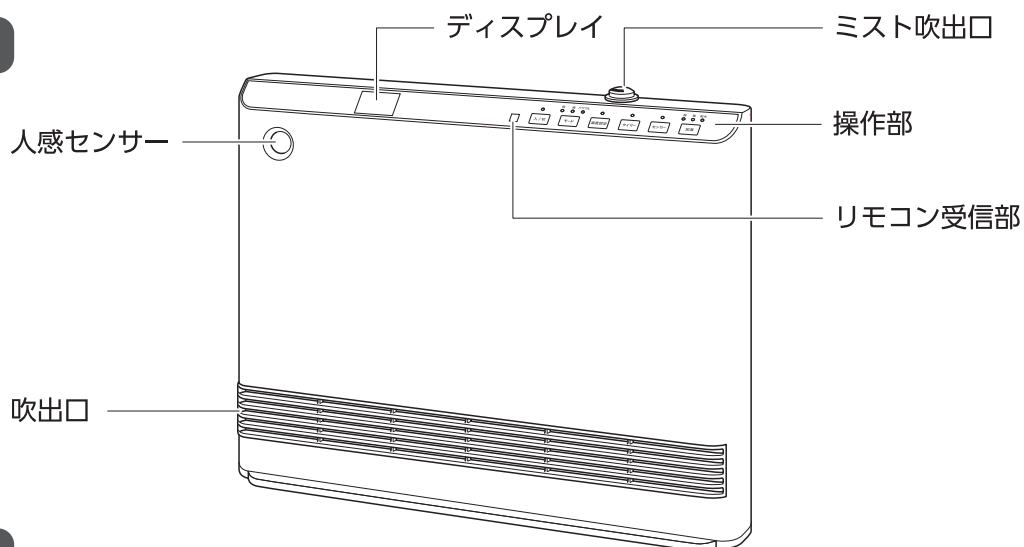
犬や猫などのペット用として使用しないでください。

- ・ペットが本体や電源コードを傷つけ、火災や故障の原因になります。

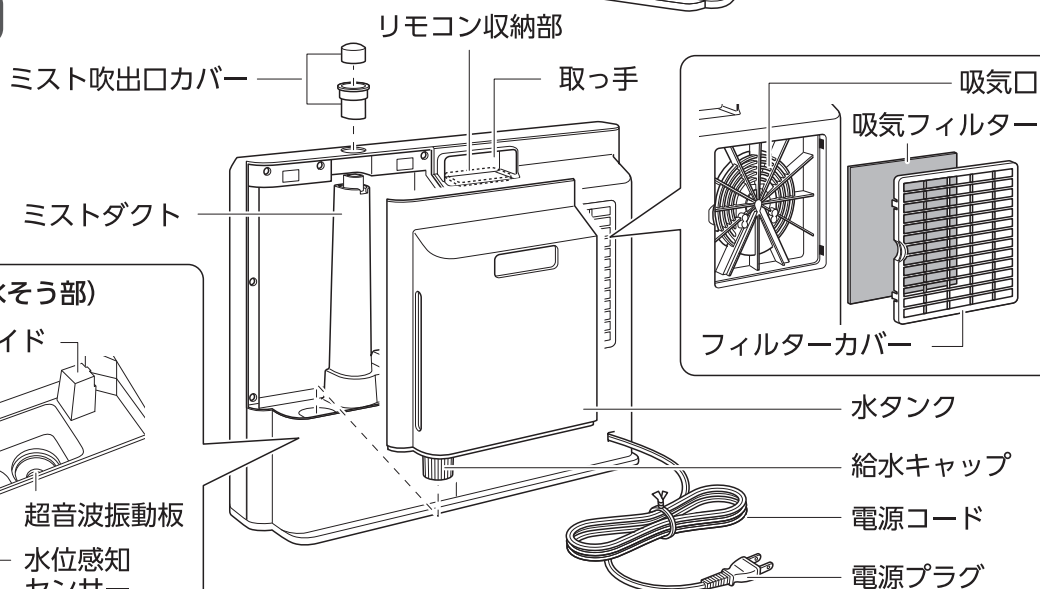
# はじめに

## 各部のなまえ

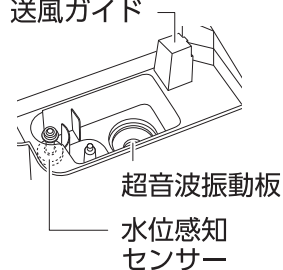
### 正面



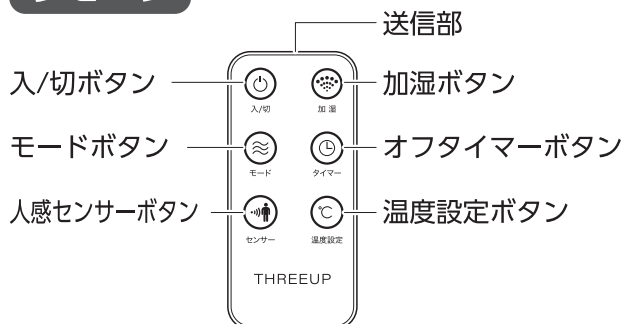
### 背面



### 本体(水そう部)

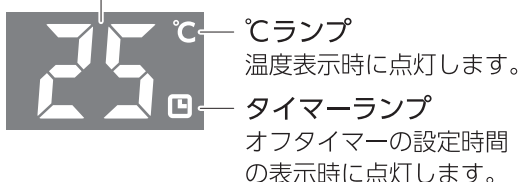


### リモコン

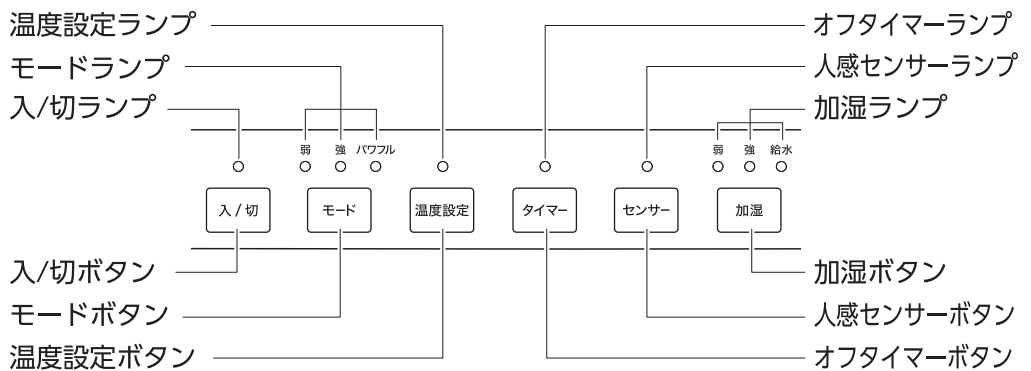


### ディスプレイ

温度表示またはオフタイマーの設定時間を表示します。



## 操作部



## パッケージ内容

梱包には万全を期しておりますが、万一不足品、破損品などがありましたら、スリーアップカスタマーサポートまでご連絡ください。

部品名	個数	部品名	個数
本体	1	取扱説明書（保証書付き）本書	1
リモコン（CR2032リチウム電池内蔵）	1		

## 別売品

下記の別売品または付属品をお買い求めの際は、スリーアップカスタマーサポートまでご連絡ください。

部品名	個数	商品単価（税別）
吸気フィルター	1	500 円

※ 上記の費用以外に、送料と代引き手数料がかかります。

## 仕様

サイズ	幅50×奥行15×高さ41.5cm	本体重量	約5.4 kg
電源	AC100V 50/60Hz	消費電力	パワフル(50Hz/1200W、60Hz/1100W)、 強/1000W、弱/600W、加湿モード/30W
材質	ABS、PP		
1時間あたりの電気代	約32.4円(パワフル1200W連続運転時)	コード長	約1.5 m
加湿量	弱/100 ml/h、強/180 ml/h	加湿方式	超音波
オフタイマー設定	1～8時間	水タンク容量	2.2 L
センサー感知範囲	上下60°、左右60° (2m)	自動オフタイマー	10時間
運転モード	ヒーター 3段階（パワフル/強/弱）、人感センサー（自動運転）、 温度設定（18～30℃）、加湿モード（強/弱 2段階）、		
安全装置	温度ヒューズ、サーモスタット、転倒時自動オフスイッチ		

※ 商品は改良の為、仕様・外観など予告なく変更する場合があります。

# ご使用の前に

## 設置について

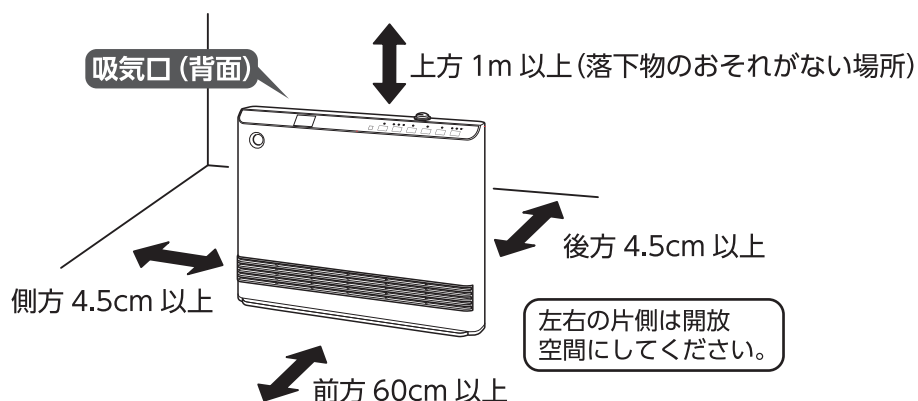
### ■ 設置場所

#### 警告

- 下図の設置距離を必ずお守りください。
  - ・ 左右側のどちらか一方は、壁や障害物で囲まれていない開放空間にしてください。
  - ・ カーテン、ふとん、新聞など燃えやすいものの近くで使用しないでください。また、本体の上に物をかぶせないでください。
  - ・ 本体背面の吸気口が、壁やカーテンなどでふさがれないよう設置してください。
- 極端に高温になる場所や、直射日光の当たる場所には設置しないでください。

#### 注意

- 家具や電化製品、壁などに直接温風が当たるような場所に設置しないでください。
- テレビやパソコン、オーディオ機器などの近くに設置すると、雑音などが入る場合がありますので、十分に距離をとって設置してください。
- 水平で安定している場所に設置してください。
  - ・ 斜面や毛足の長い敷物の上など不安定な場所に設置すると、転倒などの原因になります。
  - ・ 転倒時自動オフスイッチが作動して電源が入らない原因となります。

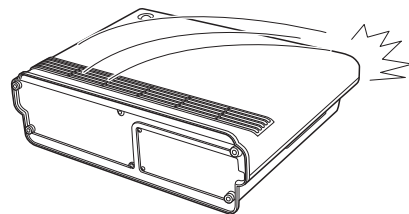


### ■ 転倒時自動オフスイッチ

本体が転倒したときは自動で運転を停止します。

本体が転倒したり、傾いたりした時に自動で運転を停止します。

- ・ 転倒時自動オフスイッチが作動して運転が一旦停止した場合、同時に電源も切れます。引き続きご使用の場合は、水平な床面にもう一度設置して“ピーッ”と電子音が鳴った後、本体またはリモコンの「入/切」ボタンを押してください。
- ・ 本体を動かしたときにカラカラと音がすることがありますが、これは転倒時自動オフスイッチの動作音です。故障ではありません。



### ■ 安全装置

温度が上昇しすぎるとサーモスタットが作動し、自動的に運転が停止します。

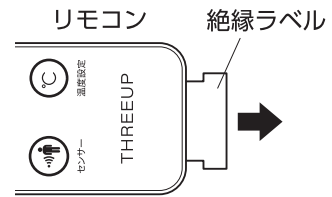
少し時間をおいて温度が下がれば、運転を再開できます。

異常な温度上昇を感知した場合は、温度ヒューズが作動し、回路を遮断する場合があります。その場合は温度が下がっても運転は再開できません。

# リモコンについて

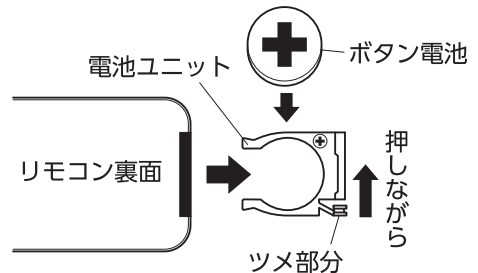
工場出荷の段階でボタン電池がセットされています。  
ご使用前に絶縁ラベルを引き抜いてください。

※製品に最初から付属しているボタン電池はテスト用のため、  
新しいボタン電池に比べて寿命が短い場合があります。



## ■ 電池の交換方法 (ボタン電池：CR2032)

- ① リモコン裏面の電池ホルダーのツメ部を、矢印方向に押しながら引き抜きます。
- ② ボタン電池の【+】を上にしてセットしたあと、電池ホルダーを「カチッ」と音がするまで、しっかりとはめ込んでください。



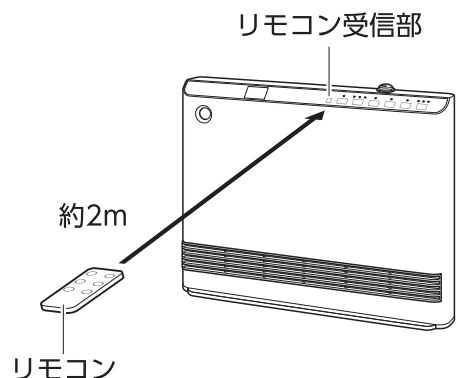
## ⚠ 注意

- 電池の【+】と【-】は十分注意してセットしてください。
- 長時間リモコンを使用しないときは、電池の液漏れを防ぐためにリモコンから電池を取り出してください。消耗した電池を入れたままにしておくと、液漏れや腐食によりリモコンを傷めることがあります。
- 電池が液漏れを起こした場合は、液に触れないように注意し、すぐに電池を取り出してください。
  - ・ 漏れた液が体に付着した場合はよく洗い流してください。
  - ・ 万一、液が目に入った場合はすぐに多量の水で洗い流し、医師にご相談ください。
- 電池を火の中に入れてください。また、ショートさせたり、分解や加熱したりすることは危険ですので、絶対にしないでください。
- 電池が消耗すると操作できる距離が短くなりますので、早めに新しい電池 (CR2032) に交換してください。
- 乳幼児の届くところにリモコンを置かないでください。  
電池誤飲の原因となります。

## ■ 操作範囲

リモコンの送信部を本体のリモコン受信部に向けて使用してください。操作距離は直線で約2mです。

テレビやオーディオのリモコン等を使用した際、まれに本体が反応して動作することがあります。これは本製品と同じ周波数を利用している機器で起きる現象です。  
そのような場合は本体に影響しない場所でご使用ください。



# ご使用方法

## 運転する(連続運転)

### 警告

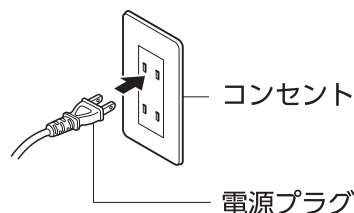
- 電源プラグは奥までしっかり差し込み、電源コードは束ねたまま使用しないでください。
- 運転中と運転直後の吹出口は高温になっていますので、触らないでください。

### 注意

- 吸気フィルターを取り外した状態で運転しないでください。また、運転中に吸気フィルターを取り外さないでください。
- 運転中は本体を移動させないでください。

※初めてご使用の際は、使い始めに少し塗料または油分の臭いがすることや、まれに少量の煙が出る場合がありますが、故障や異常ではありません。  
ご使用にともない消えてなくなります。

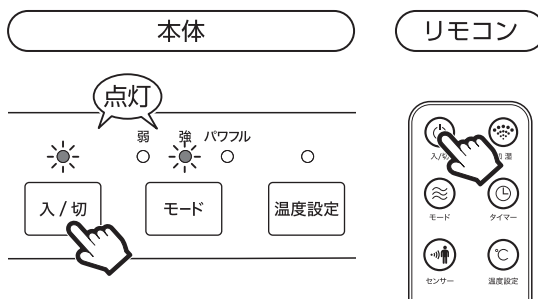
- ① 電源プラグをコンセントに差し込むと“ピッ”と電子音が鳴ります。



- ② 本体またはリモコンの『入/切』ボタンを押します。“ピッ”と電子音が鳴って『入/切』ランプと『モード』ランプ「強」が点灯し、「強」モードで運転を開始します。

同時にディスプレイに本体の周囲温度が表示されて、約15秒後に消灯します。

- 温度が正確に表示されるまで約30分必要です。
- 設置場所によっては温度が正確に表示されない場合があります。
- 周囲温度表示時は、『℃』ランプが点灯します。



### ディスプレイ



(例：周囲温度 25℃)



## 停止する

### 注意

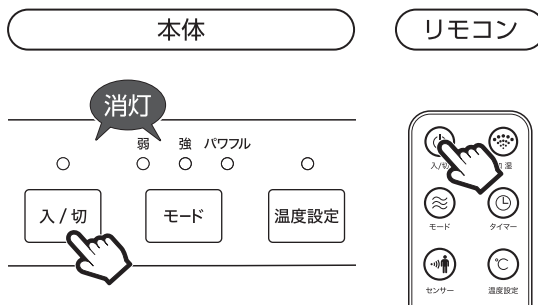
- 長時間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源プラグを抜く場合は、必ず先に『入/切』ボタンを押し、《送風運転の停止》を確認してから電源プラグを抜いてください。運転中に電源プラグを抜くと、故障の原因になります。

運転中に本体またはリモコンの『入/切』ボタンを押します。

“ピッ”と電子音が鳴って全てのランプが消灯し、運転を停止します。

### メモ

運転停止後は内部冷却のため、約30秒間送風運転を行います。



### 自動オフタイマー機能

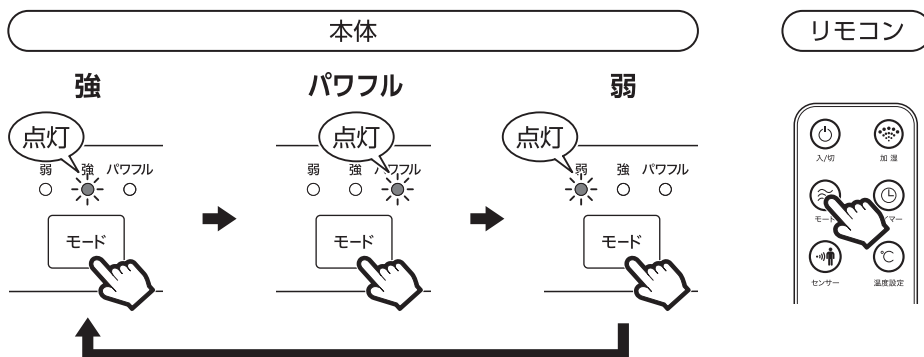
電源の消し忘れを防止するため、連続運転モードのみ、最後の操作から10時間後に自動停止します。  
※人感センサー（自動運転）、温度設定、加湿モード中は、自動オフタイマー機能は働きません。

## 運転モードを切り替える

運転中に本体またはリモコンの『モード』ボタンを押します。

『モード』ボタンを押すごとに“ピッ”と電子音が鳴って、運転モードが切り替わります。

設定したモードに応じて、『モード』ランプが点灯します。



### メモ

運転モード「強/弱」の切り替えはヒーターの発熱量を切り替えるもので、温風の風量は変わりません。  
運転モード「パワフル」のみ、風量が強くなります。

# ご使用方法

## 温度設定モード

### ■ 温度設定モードについて

設定温度より室温が低い場合は暖房運転が行われ、設定温度より室温が高くなった場合は、約 30 秒間送風運転をしたあと運転を停止します。周囲温度が下がると自動的に運転を再開します。

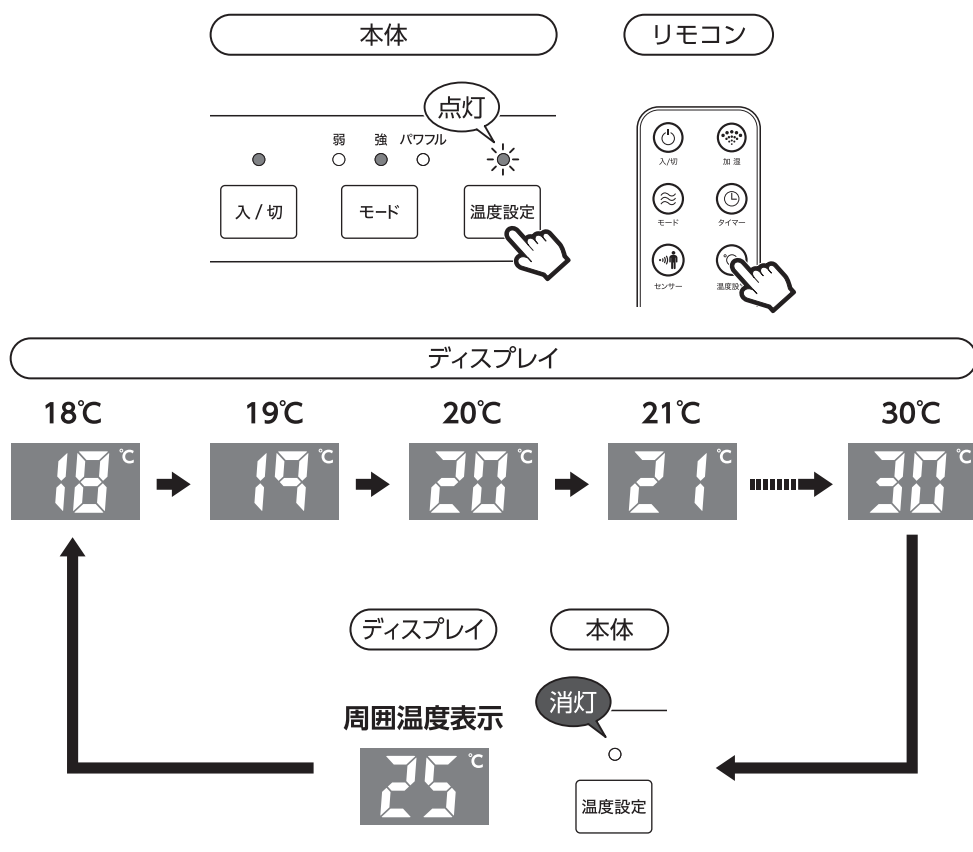
※室温は本体に内蔵されている温度センサーが感知する製品の周囲温度となります。

運転中に本体またはリモコンの『温度設定』ボタンを押します。

“ピッ”と電子音が鳴って『温度設定』ランプが点灯し、ディスプレイに設定温度が表示されます。

『温度設定』ボタンを押すごとに“ピッ”と電子音が鳴って、設定温度が1℃ずつ上がります。

- 設定温度は18～30℃です。
- 設定温度を3回点滅表示した後、周囲温度表示に切り替わって設定が完了します。
- 温度設定モードを解除する場合は、本体またはリモコンの『温度設定』ボタンを『温度設定』ランプが消灯するまで繰り返し押します。

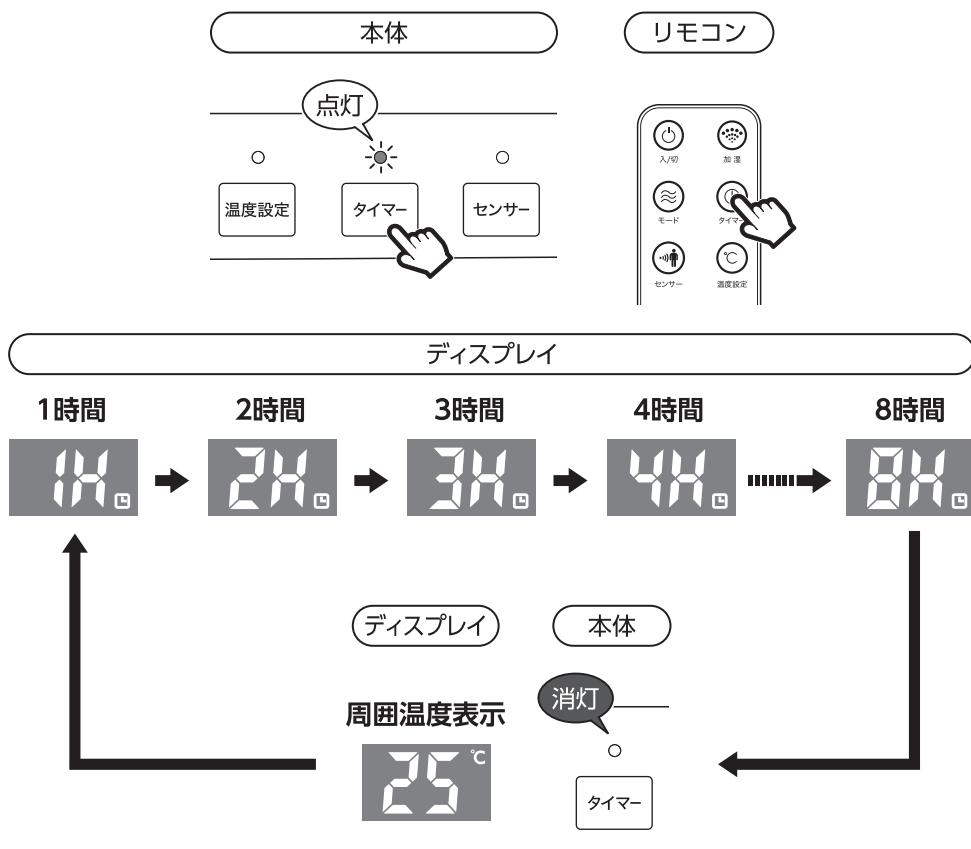


# オフタイマーを使う

運転中に本体またはリモコンの『オフタイマー』ボタンを押します。

“ピッ”と電子音が鳴って『オフタイマー』ランプが点灯し、ディスプレイに設定時間が表示されます。『温度設定』ボタンを押すごとに“ピッ”と電子音が鳴って、設定時間が切り替わります。

- 設定時間は1～8時間です。
- 設定時間を3回点滅表示した後、周囲温度表示に切り替わって設定が完了します。
- オフタイマーを解除する場合は、本体またはリモコンの『オフタイマー』ボタンを『オフタイマー』ランプが点灯するまで繰り返し押します。



## 人感センサーモード(自動運転)

### ■ 人感センサーについて

人感センサーは人の動きを感知して、自動的に運転・停止を行います。

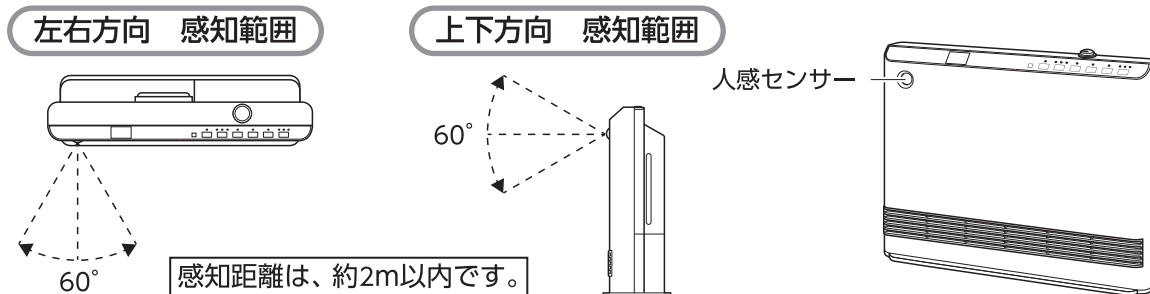
人感センサーが連続で約1分間、人を感知しないと『モード』ランプが点滅して待機状態となります。

送風運転(約30秒間)した後、運転を停止します。

人感センサーが人を感知すると“カチッ”と音が鳴り、運転を再開します。

#### ● 人感センサーの感知範囲

感知の範囲以内で連続的に感知される場合は、運転時間が延長されます。



#### ● 人感センサーの特性上、下のような場所では作動しなかったり誤作動したりする場合があります。

- カーテンの近くや風などで揺れるもの(植物など)の近く
- 人感センサーや感知範囲に直射日光が当たる場所
- エアコンなどの送風を受ける場所
- 温度の高い場所や急激な温度変化のある場所
- 湿度の高い場所や加湿器の近く

#### ● 人がいても、ゆっくりとした動きや早い動き、小さい動き、じっとしている時などには人感センサーは感知しません。

#### ● 人以外のペットや熱を出す器具(他の暖房器具・お掃除ロボットなど)にも反応する場合があります。

## ■ 人感センサーモードを設定する



### 注意

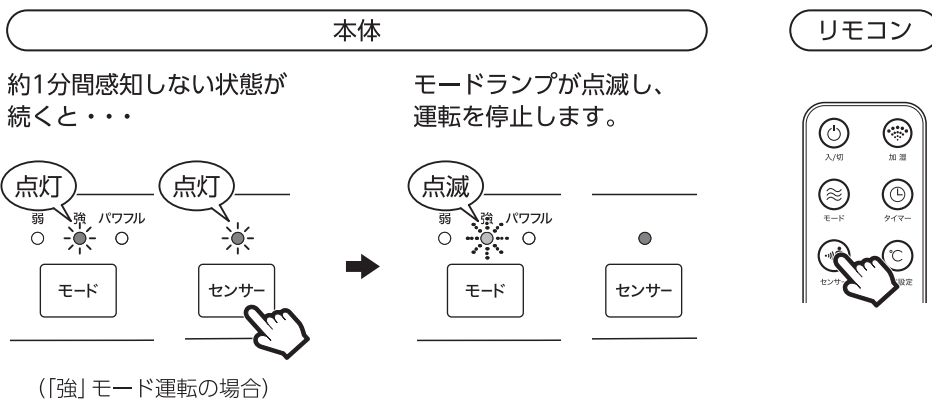
人感センサーに直射日光があたると誤作動をおこす場合があります。  
人感センサーに直射日光の当たる場所では使用しないでください。

運転中に『人感センサー』ボタンを押します。

“ピッ”と電子音が鳴って『人感センサー』ランプが点灯し、人感センサーモード (自動運転) に切り替わります。

人感センサーモードを停止するには、もう一度『人感センサー』ボタンを押します。

“ピッ”と電子音が鳴って『人感センサー』ランプが消灯し、連続運転に切り替わります。



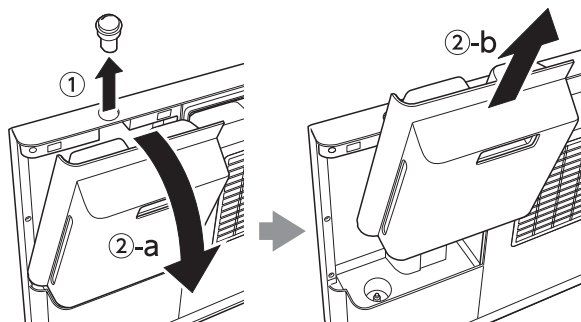
# ご使用方法

## 加湿モード

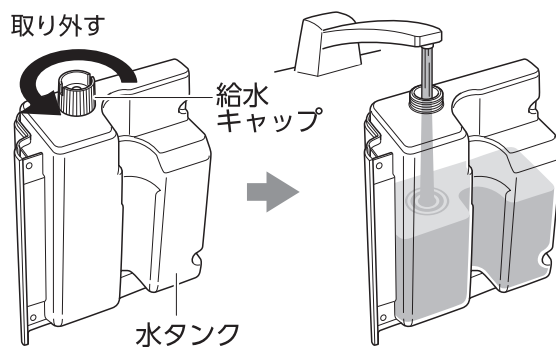
### ■ 水タンクに水を入れる

加湿運転をご使用の前に、次の手順で水タンクに給水してください。

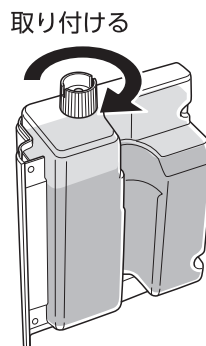
- ① ミスト吹出口カバーを取り外します。
- ② 水タンクを本体から取り外します。
  - a. 取っ手に手をかけ、手前に引きます。
  - b. そのまま持ち上げます。



- ③ 給水キャップを開けて、常温の水道水を入れます。
  - 洗面所やお風呂場などで給水してください。
  - あふれないようご注意ください。

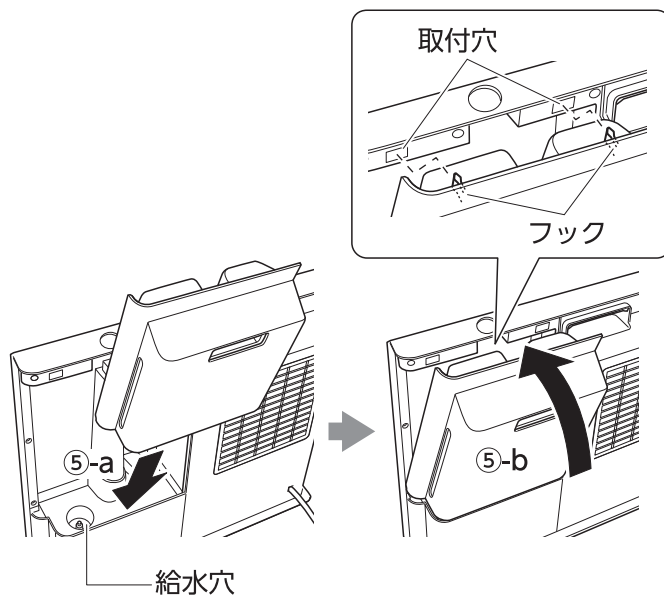


- ④ 給水キャップを取り付けます。



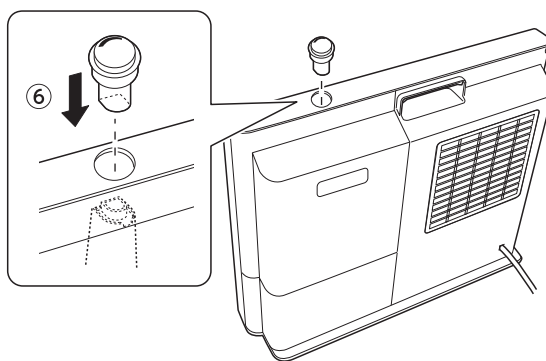
⑤ 水タンクを本体に取り付けます。

- a. 給水キャップをミストダクトの給水穴に差し込みます。
- b. 水タンクのフック (2カ所) を本体の取付穴に引っ掛けます。



⑥ ミスト吹出口カバーを取り付けます。

ミストダクトとミスト吹出口カバーの形状を合わせて取り付けます。



# ご使用方法

## ■ 加湿運転する



### 注意

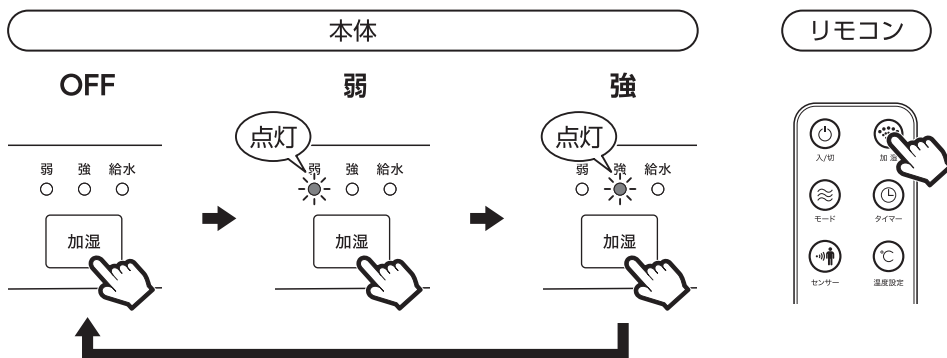
加湿量が強すぎると過加湿により、本体や床面が濡れやすくなりますので、環境下に合わせて加湿量を調節してください。

本体またはリモコンの『加湿』ボタンを押します。

“ピッ”と電子音が鳴って『加湿』ランプ「弱」が点灯し、ミスト吹出口からミストが出ます。

『加湿』ボタンを押すごとに“ピッ”と電子音が鳴って、加湿量が切り替わります。

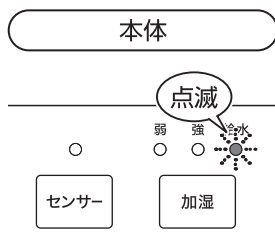
加湿運転を停止する場合は、『加湿』ランプが消灯するまで『加湿』ボタンを押します。



## 水タンクの水がなくなったら

水タンクの水がなくなると、“ピーッ”と電子音が4回鳴って『給水』ランプが赤く点滅し、加湿運転を停止します。

※続けて使用する場合は、水タンクに残った水を捨て、新しい水道水を水タンクに入れてください。





## お手入れと保管方法



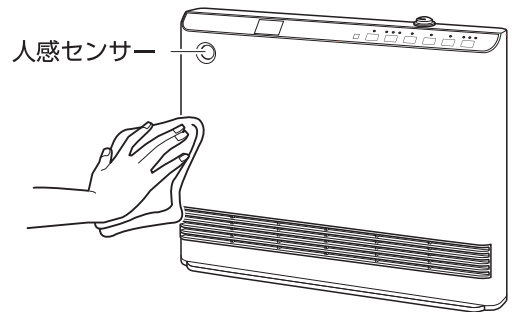
### 警告

- お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。感電や事故の原因になります。
- 運転中と運転直後の吹出口は高温になっていますので、さわらないでください。火災ややけどの原因になります。

### ■ 本体と人感センサーのお手入れ

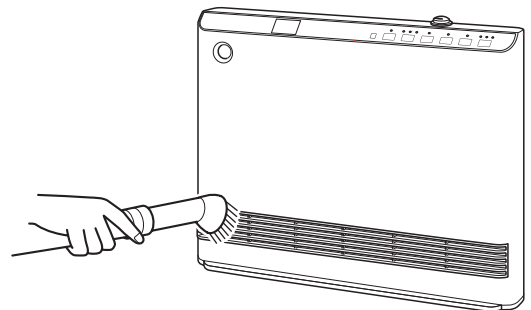
ぬるま湯か薄めた台所用中性洗剤に浸してよく絞った柔らかい布で汚れを拭き取ってください。そのあと乾いた柔らかい布で拭いて、十分に乾かしてください。

お手入れには塩素系/アルカリ系の洗剤や、シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しないでください。



### ■ 吹出口のお手入れ

すき間にたまったホコリは、掃除機で吸い取ってください。



### 吹出口の変色について

ご使用方法、ご使用状況によっては吹出口が変色する場合がありますが、性能や安全性に問題はありません。

また変色や変形の原因になりますので、以下のようなご使用方法はお避けください。

- フィルターが汚れ、詰まっている状態での使用。
- 吸気口、吹出口付近に障害物がある状態での使用
- 机の下など狭く囲まれた場所での使用

## ■ 吸気口のお手入れ

### お願い

吸気口および吸気フィルターは、本機の性能を維持するため、2週間に1回以上お手入れをしてください。

フィルターカバーを取り外してお手入れをしてください。

- ① フィルターカバーのツマミに指を掛けて手前に引き、フィルターカバーを取り外します。
- ② フィルターカバーから吸気フィルターを取り外します。
- ③ フィルターカバー、吸気フィルター、吸気口をお手入れします。

#### フィルターカバーのお手入れ

本体と同じ方法でお手入れをしてください。

#### 吸気フィルターのお手入れ

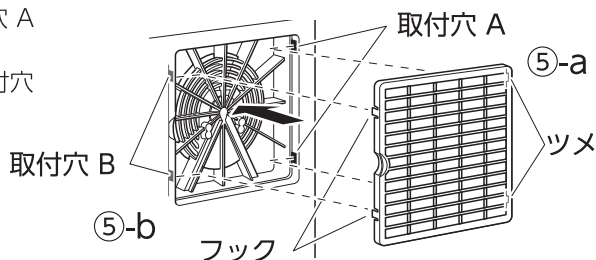
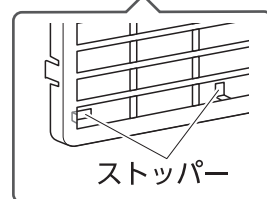
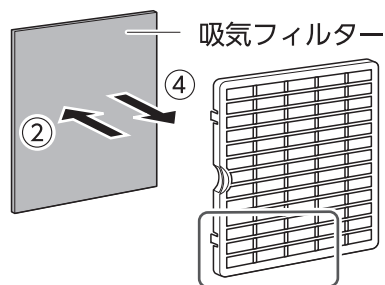
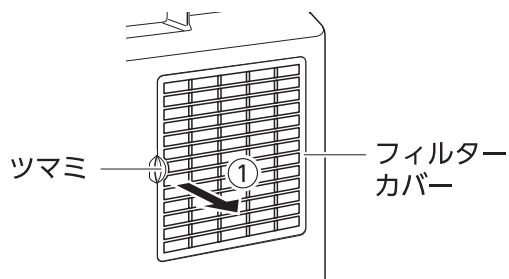
水洗いをしてください。掃除機でのお手入れは吸気フィルターが破れたり、吸い込まれるおそれがありますので、お避けください。

お手入れ後は陰干しして十分に乾かしてください。

#### 吸気口のお手入れ

すき間にたまったホコリは、掃除機で吸い取ってください。

- ④ 吸気フィルターをフィルターカバーに取り付けます。  
フィルターカバー内側のストッパー部 (7カ所) に吸気フィルター差し込んでください。
- ⑤ フィルターカバーを本体に取り付けます。
  - a. フィルターカバーのツメ (2カ所) を本体の取付穴 A に差し込みます。
  - b. フィルターカバーのフック (2カ所) を本体の取付穴 B に引っかけます。



## ■ 水タンク内側 (週 2 回以上)

水タンクに少量の水を入れ、給水キャップを閉めて、タンクを軽く振り洗いし、排水します。  
汚れが落ちにくいときは、薄めた台所用中性洗剤を使用してください。  
洗剤が残らないよう、しっかりすすいでください。



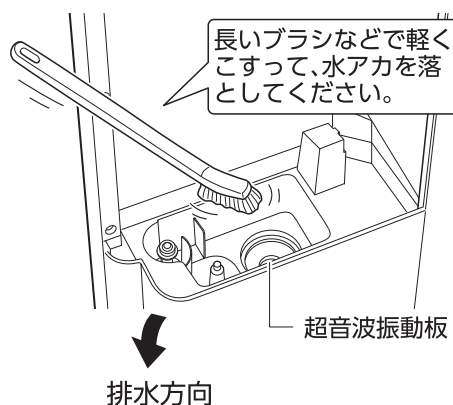
## ■ 本体 (水そう部) 内部、超音波振動板 (週 2 回以上)

① ミストダクトを取り外し、本体 (水そう部) に残っている水を捨てます。

水を捨てる際は、必ず排水方向に従ってください。

② 超音波振動板の水アカを取り除きます。

- 汚れが落ちにくい場合は、市販のブラシなどを使用して取り除いてください。
- 金属製のブラシなどでこすると、傷が付き、故障の原因となりますので、使用しないでください。
- 超音波振動板の汚れを取り除く際は、衝撃を与えないよう丁寧に取り除いてください。



## ■ ミスト吹出口カバー、ミストダクト (週 2 回以上)

水洗いします。

汚れが落ちにくいときは、薄めた台所用中性洗剤を使用してください。

洗剤が残らないよう、しっかりすすいでください。



## ■ 保管方法

お手入れのあと、各部の水分をよく拭き取り、陰干しして十分乾燥させてください。

湿ったまま保管すると、カビの発生や故障の原因となります。

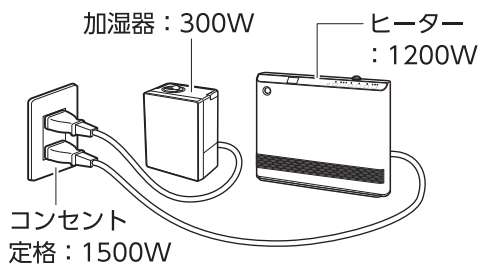
本体にポリ袋をかぶせ、お買い上げ時の箱などに入れて、直射日光を避け、湿気の少ない場所に保管してください。

## コンセントの点検

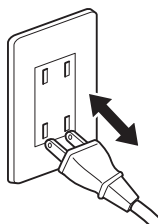
- コンセントなどの配線器具には寿命があります。  
経年劣化、または誤った使いかたにより焼損や火災の原因になる場合があります。

### 誤った使いかたの例

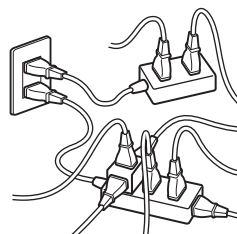
- ✕ 定格容量いっぱい使用する



- ✕ 電源プラグを斜めに抜き差しする



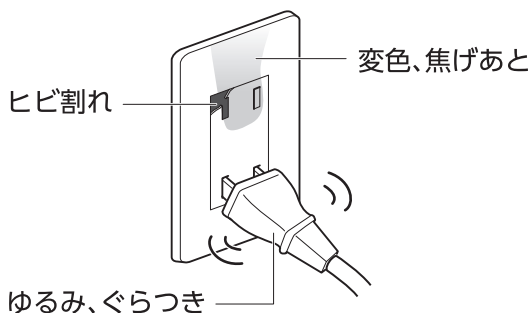
- ✕ タコ足配線する



- 下記のようなコンセントはすぐに交換をしてください。

- ・電源プラグの抜き差しがゆるい。
- ・電源プラグやコンセントが熱い。
- ・表面が変形（ふくれ、ヒビ割れなど）している。
- ・表面が変色、焦げあとがある。

そのまま使い続けると焼損、火災の原因となります。



### 注意

- 破損または曲がっている電源プラグを無理矢理コンセントに差し込まないでください。
- ・焼損や火災、事故の原因になります。

### 長年ご使用のヒーターはよく点検を行ってください。

- このような症状はありませんか？

- ・電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ・電源コードや電源プラグが破損した。
- ・コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- ・焦げ臭いにおいがする。
- ・その他の異常や故障がある。



このような症状の際は、事故防止のため電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、必ず販売店またはスリーアップカスタマーサポートまで点検をご依頼ください。

## 故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、下記項目の確認をお願いします。

症 状	考えられる原因	対処方法
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電源プラグが外れている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電源プラグをコンセントに接続してください。</li> </ul>
運転しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●運転スイッチが「切」になっている。</li> <li>●安定した水平な場所に置かれていない。 (転倒時自動オフスイッチが働いている)</li> <li>●人の動きがない状態で人感センサー自動運転が働いている。</li> <li>●内部温度が異常に上がり、安全装置が働いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電源プラグをコンセントに接続して、本体またはリモコンの『入/切』ボタンを押してください。</li> <li>●安定した平らな床面でお使いください。</li> <li>●人感センサーに動きを感知させるか、連続運転に切り替えてください。</li> <li>●連続運転で本体が過熱状態になり、安全装置が働いています。しばらく待って、本体が冷めてから再度運転をしてください。</li> </ul>
温風がでない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●吸気口、吸気フィルターが汚れている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●吸気口、吸気フィルターのお手入れをしてください。</li> </ul>
音がうるさい	<ul style="list-style-type: none"> <li>●安定した水平な場所に置かれていない。</li> <li>●吸気口、吸気フィルターが汚れている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●安定した平らな床面でお使いください。</li> <li>●吸気口、吸気フィルターのお手入れをしてください。</li> </ul>
異臭がする	<ul style="list-style-type: none"> <li>●はじめて運転をしたため。</li> <li>●吸気口、吸気フィルターが汚れている。</li> <li>●水タンクの水が汚れている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●はじめてご使用になる時は、製品の塗料のにおいや、まれに少量の煙が発生することがありますが、異常ではありません。ご使用にともない次第になくなります。</li> <li>●吸気口、吸気フィルターのお手入れをしてください。</li> <li>●水タンクをよく洗い、新しい水を入れてください。</li> </ul>
人感センサーが感知しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●人感センサー(自動運転)モードに設定されていない。</li> <li>●人感センサー部分が汚れている。</li> <li>●直射日光が当たっている。</li> <li>●人感センサーの感知範囲を超えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「人感センサー」ボタンを押して人感センサー運転にしてください。</li> <li>●人感センサー部分のお手入れをしてください。</li> <li>●直射日光の当たらない場所でお使いください。</li> <li>●人感センサー感知範囲内でお使いください。 (上下60°、左右60°、感知距離2m以内)</li> </ul>

症 状	考えられる原因	対処方法
ミストが出ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 水タンクの水がない。</li> <li>● 水タンク、ミストダクトが正しくセットされていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 水タンクに給水してください。</li> <li>● 水タンク、ミストダクトを本体(水そう部)に確実にセットしてください。</li> </ul>
ミストの吹出量が少ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 超音波振動板が汚れている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 超音波振動板に水あかなどが付着するとミストの出方が悪くなります。超音波振動板のお手入れをしてください。</li> </ul>
白い粉が付着する	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 白い粉はお使いの水道水に含まれるミネラル成分です。(人体に影響はありません)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 水に浸した柔らかい布を固くしぼって拭き取ってください。</li> </ul>

※ 上記の点検を行っても異常がある場合は、スリーアップカスタマーサポートまでご連絡ください。

※ 当社ホームページにも「よくあるご質問」を掲載しておりますのでご覧ください。